

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。
Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 浅野文彦 役職 / official position : 准教授

<p>1. 研究テーマ / Research Theme</p> <p>移動ロボットをはじめとする動的システムの数学的モデリング、およびその力学特性を考慮した効率的な運動生成のための制御系設計法の構築。</p>
<p>2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired</p> <p>研究室教育は必修 A 科目 (先端) 又は研究支援科目 (融合) の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.</p> <p>多自由度な動的システムの運動を、行列微分方程式を用いて数学的に記述する能力、ロボットシステムが生成する自明でない非線形現象や複雑な運動を解析する能力、システムの力学特性を有効に利用した効率的な運動生成のための制御系設計を行う能力、ならびにロボティクスを手段として、実世界におけるヒトや動物が有する運動生成機序を客観的に把握・説明する能力。</p>
<p>3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle</p> <p>博士前期課程の学生に対する研究指導においては、ロボットシステムのモデリング・制御系設計・運動解析に関する基礎知識とスキルの修得を目標とし、目標達成のための問題解決に取り組ませる。学生は自ら先行研究調査を行い修士論文研究のテーマを設定することが理想であるが、それが難しい場合には、主旨導教員との定期的な議論を通して研究テーマを決定していく。研究指導では、科学的研究として新規性が認められる手法の提案、あるいはシステムの実現を目指し、研究の進捗に応じて指導内容を段階的に深める。これらを達成することを修了要件とする。また、在学期間を通じて最低 1 回、国際会議における成果発表を行うことを強く推奨している。</p> <p>博士後期課程の学生に対する研究指導においては、博士前期課程までの研究活動を基盤として、学生自ら設定した新しい問題に取り組ませる。その解決を目指した新手法の提案、得られた結果の客観的評価、ならびに実機実験による検証を行うとともに、主旨導教員との継続的な議論を通じて研究の深化を図る。研究活動に並行して学会活動にも積極的に取り組み、第一著者としてロボティクス分野におけるフラッグシップ会議への論文投稿を継続すること、ならびに国際学術雑誌に第一著者として論文を投稿し掲載することを修了要件とする。</p>
<p>4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities</p> <p><input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : 専門知識とスキルの修得、研究の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 研究室内セミナーへの出席および発表</p> <p><input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : 研究進捗の整理および研究計画の見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 国内会議・国際会議への論文投稿および成果発表、個別ミーティング、インターンシップ、合宿</p> <p>本研究室では、毎日の研究生生活においてコアタイム等の細かいルールは設定しておらず、学生各自がカレンダー通りの規則正しい生活を心掛けることを基本とする。就職活動等の理由で研究活動に支障が生じる場合には、事前に指導教員に連絡することとする。研究活動への参加状況が著しく少ない場合には、研究の進捗状況を踏まえ、修了時期について主旨導教員と相談の上で調整することがある。</p> <p>研究室内セミナー (原則として毎週 1 回・2 時間程度) への参加は、研究指導の重要な一環として位置付けており、すべての学生に出席を求めている。セミナーでは、各学生が持ち回りで文献紹介や研究進捗状況の報告を行う。学内外での発表を控えている場合には、その発表練習を行うこともある。その他、研究の進捗や内容に応じて、学生ごとに個別のミーティングを適宜実施する。</p>

5. 年間スケジュール / Annual Schedule

本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP 参照：ホーム>教育>履修関係>履修案内)

Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)

例年の研究室活動および研究指導は、以下の年間スケジュールを基本として実施している。これらの活動を通じて、研究室内の交流を促進するとともに、研究に対する理解の深化および研究能力の向上を図る。毎年12月に開催するM1学生発表会では、M1学生が展開配属後に学んだことや考えたことを自由な形式で発表し、M2以上の学生がその内容に対する質疑および講評を行うことで、研究に関する議論能力の育成を目的としている。

- 新入生歓迎会 (7月)
- 新歓合宿 (秋季)
- M1学生発表会 (12月)
- 修了祝賀会 (3月)
- 国内会議・国際会議における成果発表 (随時)

なお、各行事の実施時期や内容については、研究活動の進捗状況等に応じて適宜調整する。